

平成27年度 学校経営報告書（自己評価）

学校番号	42	学校名	静岡県立静岡東高等学校	校長名	平井はる美
------	----	-----	-------------	-----	-------

◎本年度の取組（重点目標はゴシック体で記入）

※1：理系高大連携推進委員会、 ※2：国際理解教育推進委員会 ※3：いじめ防止対策委員会、 ※4：運営委員会

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題	担当
ア	授業改善と 学力向上	・教員の授業公開率 100%	・土曜授業等を活用し、公開率 100%を達成した。	A	・土曜公開授業についての校内アンケート、新採研・教育研究会・センター定期訪問における中心授業への研究協議、教科等指導リーダーの授業公開指導等を通して、授業改善についての気運が高まった。	研修
		・外部教科指導セミナー参加者数 3人以上	・駿台教育セミナーに英国数3人が参加した。(8月)	A	・新たな高大接続(大学入試)や学習指導要領に対応するため、教科指導力向上に向けた外部研修を今後も継続する。	
		・教員の先進校訪問人数 4人以上	・横浜翠嵐・相模原・川和・湘南高校の4校に計4人が訪問した。(10月)	A	・他県の進学校の情報を全職員で共有し、指導・施策の参考とした。来年度も同様に実施する。	
	授業改善と 学力向上	・土曜授業の外部評価 良好が70%以上	・85%程度が良好であるという評価であった。	A	・非常に良い評価をいただいているが、生徒の活動が少ない等の少数意見については今後の授業改善で検討したい。	教務
		・学年週テスト回数 19回	・英語10回、数学9回の計19回実施した。	A	・合格するまで再試験を行うなどフォローもしっかり行って基礎力の定着に役立てている。	
		・1・2年家庭学習時間調査回数 3回以上	・学習時間調査は1,2年とも1,2学期に3回実施した。	A	・1年の学習時間はクラス間の差が大きく学年を通した雰囲気作りが課題である。	進路 学年
・1・2年家庭学習時間 1日平均2時間以上	・1日の家庭学習時間の平均は1年が118分、2年が122分であった。	B	・2年生では目標を達成したが1年生ではわずかに下回った。面談等において学習の内容や学習時間の確保について指導していきたい。			
・職員会議での模試の分析回数 3回以上	・模試分析は1,2学期で2回行った。3学期にまた行う予定である。	A	・各学年の問題点を日々の授業等で改善するとともに全職員で共有することで全校的な対応につなげたい。 ・1年は週末課題や学年小テストの事後指導を重視す			

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題	担当
		<ul style="list-style-type: none"> ・1・2年11月進研模試偏差値平均 55以上 ・センター試験平均点 全国平均+5%以上 ・予備校との連携講座参加者数 20人以上 	<ul style="list-style-type: none"> ・11月模試平均偏差値(英数国)は1年57.1、2年57.8と目標を達成したが1年の英(54.9)・国(54.8)でわずかに下回った。 ・センター試験の平均点は一部が未達成だった。未達成科目は地理B、政経、倫政、数1A、数2B、物理、化学。 ・予備校との連携講座は51人が参加した。 	<ul style="list-style-type: none"> B B A 	<ul style="list-style-type: none"> るとともに、上位層が薄いためブラッシュアップ課題などを通して上位層を育てたい。2年は高水準を保っている。 ・各教科で行ったセンター試験問題分析を授業改善に生かし、全ての科目で、全国平均+5%以上の目標を目指す。 ・県の学力向上アドバンススクール事業と学習支援事業を活用し、多くの参加者に対して円滑な対応ができた。来年度も講座を精選しながら継続したい。 	
		<ul style="list-style-type: none"> ・図書館の貸出本冊数 1,800冊以上 	<ul style="list-style-type: none"> ・12月末までの貸出本冊数は2,667冊となった。 	<ul style="list-style-type: none"> A 	<ul style="list-style-type: none"> ・クラス貸出(学級文庫)もあり、成果目標より大幅に増えた。今後も魅力的な選書や貸し出しの工夫を行いたい。 	図書
イ	志の育成と 進路目標への 挑戦	<ul style="list-style-type: none"> ・面接週間回数 5回以上 ・専門教養講座の単位取得生徒数 10人以上 	<ul style="list-style-type: none"> ・計画どおり5回の面接週間を実施した。 ・前期8人、後期5人、計13人の参加があり、受講状況も良好であった。 	<ul style="list-style-type: none"> A A 	<ul style="list-style-type: none"> ・担任の裁量で期間の延長や短縮もあるが、面談シートを利用して有効に行われている。担任の負担大が課題となっているため、改善策を検討する。 ・意欲的な生徒がおり成果も現れているが、学校行事や放課後の活動に支障が出ないように配慮する必要がある。 	教務
		<ul style="list-style-type: none"> ・キャリア講演会生徒満足度 80%以上 	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートの結果「興味を持てた」と答えた生徒が93%であった。 	<ul style="list-style-type: none"> A 	<ul style="list-style-type: none"> ・JAXA職員による講演で話題性があり、生徒が興味を持ちやすいテーマ・内容であった。今後も魅力的なテーマや講師を選定したい。 	進路 学年
		<ul style="list-style-type: none"> ・キャリア講座生徒満足度 80%以上 	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートの結果「役立った」と答えた生徒が98%であった。 	<ul style="list-style-type: none"> A 	<ul style="list-style-type: none"> ・満足度も高く職業観の育成に効果があった。同窓会と連携して新しい講師の発掘に努力したい。 	
		<ul style="list-style-type: none"> ・東京大学訪問生徒数 40人程度 	<ul style="list-style-type: none"> ・2年生49人が参加した。 	<ul style="list-style-type: none"> A 	<ul style="list-style-type: none"> ・希望者が多く東京大学農学部の講義体験や研究施設見学を通して高い志を育てるきっかけとなった。来年度以降の実施方法を模索中である。 	
		<ul style="list-style-type: none"> ・大学模擬授業生徒満足度 80%以上 	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートの結果「役に立った」と答えた生徒が96%であった。 	<ul style="list-style-type: none"> A 	<ul style="list-style-type: none"> ・新規事業のため不安もあったが11大学から13人の講師を依頼し、生徒は2講座ずつ受講できたので、大学について理解する良い機会となった。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・大学訪問実施率 2学年100% 	<ul style="list-style-type: none"> ・病欠者以外全員が参加した。アンケートの結果、満足度は90%であった。 	<ul style="list-style-type: none"> A 	<ul style="list-style-type: none"> ・円滑に実施し、大学理解につなげることができた。 ・進路検討会やクラス面談を通じて適切で効果的な出 			

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題	担当
		<ul style="list-style-type: none"> ・国公立大学現役合格者数 150人以上 ・センター試験5教科受験率 70%以上 ・学年進路保護者会回数 学年各1回以上 ・進路検討会回数 3年生全員に2回以上 ・ハイレベル模試受験者数 各30人以上 	<ul style="list-style-type: none"> ・国公立大学現役合格者は150人。 ・センター試験5教科受験率は80.6%であった。 ・各学年7月に各1回実施、2年生は2回目を1月19日に実施した。 ・1回目を11/30~12/3、2回目を1/21・22で実施した。 ・ハイレベル模試受験者数 1年は2/13に実施し30人が受験した。2年は10/10に実施し55人が受験した。 	<p>B</p> <p>A</p> <p>A</p> <p>A</p> <p>A</p>	<p>願を行い、2次対応に向けた個人指導を重視し、進路決定につなげたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最後まで5教科にとり組む真面目さが見られる。生徒によっては負担が重かった感も否めない。 ・学校と保護者の進路に関する方向性を揃えるためにも今後とも継続したい。 ・大学入試の変化に対応するために全体的な入試傾向や各大学の入試内容の把握をしっかりと行いたい。 ・生徒の向上心の喚起の機会としても継続させたい。 	
		<ul style="list-style-type: none"> ・静大理学部と農学部での実習体験参加者数20人以上 	<ul style="list-style-type: none"> ・8月20・21日の2日間、理学部3講座、農学部2講座、参加生徒24人で実施した。アンケートの結果、参加した生徒の満足度は100%となった。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・学力向上アドバンススクール事業の予算を活用し、静岡大学理学部と農学部の御協力により、生徒満足度の高い内容となった。生徒が参加しやすい時期や生徒が興味を持つ内容について検討し、次年度以降も継続して実施したい。 	※1
ウ	教育活動とおとした能力や特性の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・遅刻生徒数 1日平均全校で7人以下 ・欠席生徒数 毎月前年度より減 	<ul style="list-style-type: none"> ・遅刻生徒数は、12月までで1日平均5.8人となった。 ・欠席生徒数は、12月までで200人以上増加してしまった。 	<p>A</p> <p>C</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・始業時刻の遅刻者は少ないが、朝読書、朝学習時間の遅刻までは減っていない。 ・不登校の生徒が増えていることが影響し、欠席者が増加した。 	教務
		<ul style="list-style-type: none"> ・1・2年生部活動加入率 100% ・運動部活動県大会出場率 100% ・東海大会以上への出場部活数 5部活以上 	<ul style="list-style-type: none"> ・1・2年生の部活動加入率は100% ・運動部の県大会出場率は90%で達成できなかった。 ・東海大会へは6部活が出場し達成できた。 	<p>A</p> <p>B</p> <p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・部活動加入については部活動加入に係る規定を設けて推奨している。3年生は99.1%だったのでさらに加入率を向上させたい。 ・達成は出来なかったがすべての部活動は目標達成に向けて日々努力している。 ・放課後の有効活用や外部指導者の活用により、競技力を向上させたい。 	生徒

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題	担当
		・部活動外部指導者数(県の事業) 7人以上	・スポーツエキスパート活用事業 3人、運動部活動指導の工夫・改善 支援事業6人(スポーツエキスパー トからの継続3人を含む)、・「文化 の匠」高校派遣事業3人の延べ12 人の外部指導者を活用した。	A	・外部指導者による、高度な専門性のある指導を受け ることができた。 ・人数が多かったり、パートごとの指導が必要であつ たりするなど、顧問のみでは対応が困難な場面にお いて、外部指導者による適切な対応ができた。	教頭
		・内湖高級中学校との交流回数 2回	・4月に内湖高級中学校より生徒32 人と職員3人が来校した。 ・11月に修学旅行で内湖高級中学校を 訪問した。	A	・修学旅行では内湖高級中学の大歓迎を受け、歓迎セ レモニーや授業参加を通して充実した交流ができた。 また、交流後は生徒の外国語学習に対する意欲も高ま った。	1.2学年
		・修学旅行生徒満足度 80%以上	・アンケートの結果、満足度は九州コ ース97.8%、台湾コース100%であつ た。	A	・両コース共に旅程の充実を図ったことで、高い満足 度が得られた。国際理解教育の一環として、今後も海 外コースを含めた修学旅行を継続したい。	2学年
		・生徒英語研修の参加者数 30人以上 ・英語研修の生徒満足度 80%以上	・8月3～5日の2泊3日で「ゆうらい ふ御殿場」を会場に実施し、12人が参 加した。 ・参加した生徒の満足度は100%で、来 年も参加したい、英語をもっと勉強し たくなったといった感想が多数あつ た。	B A	・次年度は7月23～25日の2泊3日で「ブリティッシュヒル ズ」を会場に実施する。8月の実施では部活動の関係 で参加者が少ないため、今後は7月末の実施にした い。 ・アメリカンサマーキャンプやブリティッシュヒルズ 英語研修はそれぞれの特徴を生かした良さがあるの で、隔年で交互に実施することになった。	※2
		・文化教室生徒満足度 70%以上	・アンケートで「良い」と答えた生徒 553人、満足度は59.5%であつ た。	B	・今年はミュージカルの演目で、昨年の人気ジャズ奏 者の演奏と比べると「良い」と答えた生徒は少なかつ たが、記述式の感想欄には、ミュージカルに対する好 評が多くみられた。	図書
エ	命を守る教 育の推進	・防災訓練実施回数 3回以上	・防災訓練を3回実施した。	A	・迅速な避難と避難経路の確認ができた。今年度は、 1年生に防災実地訓練を行い、三角巾の使い方、怪我 人の運搬法の体験講習を取り入れた。来年度も緊迫感 のある訓練を実施したい。	総務

取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題	担当
	<ul style="list-style-type: none"> ・重大な生徒交通事故件数 0件 ・組織的な街頭指導回数 3回以上 ・交通教室回数 各学年1回以上 	<ul style="list-style-type: none"> ・交通事故件数は7件(1/14現在)で、重大な事故は0件となった。 ・街頭指導回数は年間3回実施した。 ・交通教室も各学年において1回以上実施した。 	<p style="text-align: center;">A</p> <p style="text-align: center;">A</p> <p style="text-align: center;">A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・事故件数は7件であるが、重大な事故は発生していない。今後も交通安全教育に力を入れていく。 ・保護者の参加も良好であり、今後も継続実施したい。 ・今後も継続実施。参加体験型で実施したい。 	生徒
	<ul style="list-style-type: none"> ・体罰・いじめの発生件数 0件 	<p style="text-align: center;">0件</p>	A	<ul style="list-style-type: none"> ・面談などでの教員からの声掛け等とおして、生徒への啓発をしたことにより、いじめにつながる兆候や申告はなかった。 ・職員会議などでの教員への啓発により、体罰の発生はなかった。 ・体罰については、生徒向けアンケートを無記入とした。 	※3
	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒検診結果による治療率 前年度より向上 ・保健便り発行回数 9回以上 ・ウイルス性疾患による学級閉鎖件数 0件 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒検診治療率は視力72.3%、歯科38.4%、全体の平均は64.1%であり、前年度より視力、歯科ともに向上できなかった。 ・1月18日現在保健便り発行回数は13回、年度内に計15回発行を予定している。 ・ウイルス性疾患による学級閉鎖件数0件を達成した。 	<p style="text-align: center;">B</p> <p style="text-align: center;">A</p> <p style="text-align: center;">A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・データ管理を徹底し、治療率を厳密に算出した。部活動との連携強化、勧告書発行回数向上により早期受診指導を徹底したい。 ・今年度からホームページ掲載を開始した。生徒保健委員会との連携を強化し、内容充実を図りたい。 ・二酸化塩素発生剤を各教室に設置し、かぜ予防に努めた。薬剤等の管理および基本的予防指導を徹底したい。 	保健
	<ul style="list-style-type: none"> ・グループエンカウンター実施回数 全クラス1回 ・教育相談だより発行回数 8回以上 	<ul style="list-style-type: none"> ・4月に1～3年生全クラスでグループエンカウンターを実施した。 ・12月現在で相談だよりを5回発行した。 ・年度内に計8回発行する予定である。 	<p style="text-align: center;">A</p> <p style="text-align: center;">A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・グループエンカウンターの実施後、親和感が平均して1.17ポイント上昇し効果が確認できた。 ・相談だよりはミニ研修会的な内容を含む。次年度も継続して発行していきたい。 	教育 相談

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題	担当
オ	広報活動の 充実	<ul style="list-style-type: none"> ・土曜日の学校公開回数 8回 ・土曜日の部活動公開回数 2回 ・公開授業の参加者数計 1,500人以上 	<ul style="list-style-type: none"> ・土曜日の学校公開回数 8回 ・土曜日の部活動公開回数 2回 ・公開授業の参加者数計 1,921人 ・オンライン申込を11月から試行 11月 110人申込中30人 12月 91人申込中34人 1月 38人申込中25人 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・ほとんど全ての回において、前年度より参加者が多く、中学生の関心が高いことが予想される。 ・今年度から静岡市立高校が土曜公開授業を開始している。12月12日には同日公開となったが、参加者数は前年度と同数であった。 ・申込みをしない当日参加者があり、参加者数は申込数の2割増し程度となった。 ・オンライン申込を11月から試行したところ、利用の割合が増えてきている。中学生に受け入れられていると予想される。 	※4
		<ul style="list-style-type: none"> ・土曜日校内美化への外部意見 批判0件 	<ul style="list-style-type: none"> ・公開授業アンケートによる批判3件(体育館階段2・女子トイレ1)、好評4件であった。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・整頓と清掃の依頼、点検清掃を公開日前日と当日に実施した。(美化委員会・保健委員会・ボランティア他) ・運動部による当番制清掃を毎日実施した。運動部・委員会と連携し清掃と点検の強化を図りたい。 	
		<ul style="list-style-type: none"> ・HPアクセス回数 15万回以上 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日更新し、22万件を超えるアクセス回数があり目標を達成した。(1月8日現在) 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・1日平均780件ぐらいのアクセス回数があった。多い日には、約2,000件のアクセスがあり、周囲の関心が高いことがわかる。授業の様子など校内の多くのことを発信することができた。 	情報
		<ul style="list-style-type: none"> ・新聞記事掲載回数 30回以上 	<ul style="list-style-type: none"> ・新聞記事掲載回数48回で目標を達成した。(一般紙36回 スポーツ紙10回) 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・21回取材依頼をしたが、実際に記者による取材は15回となった。それ以外で学校に関わる関係記事は33回あった。今後も広報活動の充実を図っていく。 	総務
		<ul style="list-style-type: none"> ・事務室窓口へのクレーム件数 0件 	<ul style="list-style-type: none"> ・クレーム件数 0件で目標を達成した。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・明るく丁寧な窓口業務を心掛け、本校のイメージアップにつなげることができた。引き続き、来校者の受付や電話の取り次ぎを丁寧かつスムーズに行いたい。 	事務室